



図書館だより

2025年2月号 NO. 423
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16



2月 ^{おに} いい鬼、^{おに} わるい鬼 ^{おに} いろいろな鬼がいるよ！！

図書館だよりが、みなさんのお手元に届くころには、「節分」が終わっていますね。「節分」は、雑節のひとつで、各季節の始まりの日で2月は立春の前日に「鬼は外、福は内」と豆まきをし、歳の数より1つ多く豆を食べ厄除けをします。また玄関先には、邪気除けに柵翹を飾るなど昔からの行事の一つです。邪気などを鬼にたとえた有名なお話がたくさんあります。そのお話を、ほとんどが「わるい鬼」に例えられ最後には退治されてしまいます。「ももたろう」「いっすんぼうし」は代表的ですね。最近では鬼退治と言ったら「鬼滅の刃」が有名でしょうか。(笑) そんな中、心優しい鬼を紹介します。

『おにたのぼうし』

節分の夜に、居場所がなくなった“鬼の子おにた”は、まだ豆まきをしていないある家にたどりつきます。そこで、病気のお母さんと暮らす、女の子に出会います。おにたは、つのかくしの帽子をかぶり、おなかをすかせた女の子の前に、節分のごちそうを持ってあらわれます。その時、女の子に「わたしも豆まきがしたい」と言われ、みぶるいしたおにたは急にいなくなってしまう。

節分が近づくと思い出すお話です。人間と仲良くしたい鬼だけどなかなか分かってもらえない、心優しい鬼なんだけどちょっとせつなく悲しい鬼。きっとみんなの近くにもこんな鬼はいるはず。

by チッピー



《 図書館カレンダー 》 ■ = 休館日です。

★ 開館時間：午前9時30分～午後6時 ★

♡ 2025年2月 ♡

👤 3月 👤

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

『クジラがしんだら』



児童書 Eクジ 江口絵里 / 文 かわさきじゅんいち / 絵 藤原義弘 / 監修 童心社

クジラがしんだらどうなるのでしょうか？

ここに登場するマッコウクジラは体長が18m体重は50tにもなり、寿命は最大50歳にもなるようです。生涯の2/3を深海で過ごし2,000m以上の光の届かない所まで潜ることができるそうです。日本の近海でもマッコウクジラは見るができます、2年前大阪湾に迷い込んだクジラは「淀ちゃん」と名づけられ関心を集めました、発見から4日後に死んでしまいました、「淀ちゃん」は沖合に運ばれ海底に沈められました。

動物の死体は気持ちの良いものではないかもしれませんが、極端に嫌っているのは人間だけなのかもしれません。むしろ、死体というのは自然にとって恵みとなることが多いようです。自然界の生き物たちは「こんなごちそうを、そんなに嫌がらなくても」と思っているかもしれません。

この絵本はしんだクジラに引き寄せられた、お腹のすいたサメや何年もなにも食べていないダイオウグソクムシ、そして深海という厳しい世界に生きる生物たちのいつきの大宴会を描いています。クジラの命は終わってもその体を食べる生き物たちが別の命を繋いでいくのです、100年以上も長い間。

by 左利き

『本箱』を買う



最近本棚を買いました。

部屋のあちこちに置かれている本をまとめることができ、とても嬉しいです。

子どもが小さいころからリビングに置いているおんぼろ本棚には、ハリーポッターシリーズや児童書、絵本や画集がぎっしり並んでいます。

これは、我が家のパブリック本棚で、誰でも読める本棚でした。ときたま思い出したように帰ってくる娘たちが、そこから引っ張り出して絵本を読んだりする様子を目にすると、何も言いませんが、心の中でニコニコしてしまいます。

一方新しく買ったのは、自分用。今まで簡易な棚に置かれてホコリをかぶっていた本をきれいに並べてみます。(仕事柄、新しい棚に本を並べるのは嬉しい気分です。)

本棚が欲しい欲しいとずっと言い続けていたけど、今頃やっと買ったの、と家族に笑われます。その昔、欲しかったのは、大きな、大きな壁いっぱいの本棚でした。ところが実際に買ったのは本当に小ぶりなもの。本棚というより、本箱と言った方がしっくりくる風貌(ふうぼう)です。でも、このぐらいがちょうどいい、本当に必要な本は意外に少ないものだと感じています。

by ビクトリア





◇『西洋絵画のお約束 謎を解く50のキーワード』

一般書 723 ナ 中野京子 / 著 中央公論新社

「怖い絵」シリーズでおなじみの中野京子先生による美術解説書。薔薇やリンゴ、黒猫など、西洋絵画に描かれた様々な「お約束」を読み解いて、作家からの隠されたメッセージを探り出せば、一味ちがった楽しみが味わえます。カラー絵も満載で、「お約束」をすぐに確認できるのもうれしい。

ちなみに今年の干支である「蛇」もキーワードにあります。なんと、迫力満点のメドゥーサなんですめっちゃ怖い。



by ミカゲ

◇『ようこそ、難民!100万人の難民がやってきたドイツで起こったこと』

児童書 334 イ 今泉 みね子 / 著 合同出版

みなさんは困っている人には親切にするでしょう。そんなあなたのもとに、たくさんの困っている人が押し寄せてきたとき、あなたはどうしますか？今度はあなたが困っている人になってしまうのでしょうか。今、日本に突き付けられている大きな問題が難民問題です。そこには常識的な優しさでは解決できない複雑さがあります。この本はドイツでのお話ですが、あなたのそばでも起こりえるお話です。ぜひ参考にしてほしいと思います。



by オブラート

◇『ジャージー牛のサンちゃん』

児童書 645 サ 佐和 みずえ / 著 新日本出版社

サンちゃんはオスです。大きくなっても乳牛になることが出来ません。売り物として価値が低い牛となり、産まれてすぐに処分される予定でした。人間の都合で産まれたのに生きられないなんて・・・と思ってしまうのですが、牧場を経営するとなると色々な事情があるのでしょうか、なんとも複雑な気持ちになります。

この本は、処分寸前の動物を引き取り、自然放牧で健康的に飼育をし、付加価値を付けて、食肉として出荷する牧場のお話です。家畜にとって何が幸せかは人間にはわかりかねますが、生きやすい環境で過ごせる様、取り組んでいる様子が伝わります。



by ちゅん吉

◇『せかいいちのおおどろぼう』

児童書 Eセカ みき つきみ / 作 菅野 由貴子 / 絵 文研出版

ミラの「びんぼうもぬすめる？」からはじまる、せかいいちのおおどろぼうとせかいいちびんぼうなむらにすむミラのおはなしです。

むらのせんぶのいえにしのびこんで、おかねをくばってもびんぼうをぬすめない。そこで、おおどろぼうはむらから「あるもの」をぬすみます。「あるもの」をぬすんだらむらのくらしがずいぶんらくになりました。でも…

by sun

「おはなし会」のお知らせ

- 🐼 しゃぼん玉の英語のおはなし会 🐼
2月1日(土) 午前11時 ~ 11時30分
- 👏 図書館おはなし会 👏
2月5日(水)・12日(水)・19日(水)
午前10時 ~ 10時30分
- 🌟 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🌟
2月15日(土) 午前10時30分 ~ 11時
- 🐼 クーミンの英語のおはなし会 🐼
2月16日(日) 午前11時 ~ 11時30分
- 👏 わらべうたおはなし会 👏
2月22日(土) 午前11時 ~ 11時30分
- 🌟 ぼっぼのおはなし会 🌟
2月26日(水) 午前10時 ~ 11時

すべて参加自由・無料です
1階絵本コーナーにきてね!



★図書館野菜づくり講座★

「野菜づくりのコツと裏ワザ ~春・夏野菜の作業編~」

- 👏 講 師 : 江崎 崇弘氏(社団法人農山漁村文化協会)
- 👏 日 時 : 2月19日(水) 午後2時 ~ 3時30分
- 👏 場 所 : 図書館2階会議室
- 👏 定 員 : 20名(申込先着順)
- 👏 申込方法 : 2月16日(日)までにカウンターまたは電話・FAXで事前に申し込みください



2月の企画展示紹介

1階企画展示

あまいもの
だいすき

2階企画展示

科学道

カフェ前展示

立春・節分